

京都教区時報

第115号

田中司教認可

毎月1日発行

発行 京都司教区 発行責任者 村上透磨

編集 京都カトリック教理センター 住所 京都市左京区仁王門通新高倉東入 Tel 761-9095

特集 平和への歩み講演会参加者の報告・感想

あじいちゃん・あばあちゃんの 友になる人はさいわいです



人生の先輩を
大切に

私のよろける足どりと
ふるえる手を理解してくれる人は幸いです

私の耳は人のいう言葉を聞くためには
大きな努力が必要であることを
わかってくれる人は幸いです

私の目はうすくなり
私の行動はのろいということを善意のうちに

わかってくれる人は幸いです
私がコーヒーをこぼしてもかわりなく
平静な顔をしてくれる人は幸いです

しばりく立ちどまつて
明るくほほえみながら
おしゃべりしてくれる人は幸いです

「今日はその話を二度も聞きましたよ」と
決して言わない人は幸いです
楽しかった昔をとりもどす方法を
知っている人は幸いです

私が愛されており
ひとりぼっちでないことを
教えてくれる人は幸いです

私は十字架を
荷なう力がないことを
わかってくれる人は幸いです

愛情深く
人生の最後の旅路の日々を
なぐさめてくれる人は幸いです

司祭評議会定例会議報告

'86年7月7日

宣教司牧評より提案されて

いる問題の持ちよについて

四月号の宣教司牧評議会報告にありますように、現在、各組織がかかえている問題を持ちより、今後優先的に取組むべき問題の整理を行ないつつあります。すでに出された項目を並べてみると次のようにあります。

- 教会について
- (一) 教会が余りにもマイホーム主義的になつていて、社会に生きる教会とは何かが理解しにくい。
- (二) おじさん社会になつていて婦人の声、若い人の声がない。
- 「信仰」「福音」「教会」のとらえ方のギャップについて
- 信仰教育について
- 中高生、大学生、青年について
- カトリック学校について
- 現代社会に生きる信徒について
- 共同体作りについて

- 信徒使徒職をどう進め、深める
- 召命について
- 司祭について
- 祈りについて
- 在日韓国人・朝鮮人と共生について
- 人権のこと、貧しい人とのかかわりを大切にする
- 教会が、現代の若い人にアピールできる言葉を知らない
- 社会とのかかわりについて
- 地域社会と共にどう歩むか
- 青年労働者及び職種別の共同体作りについて
- その他



6月

1日(日) 桃山20周年ミサ。安土セミナリオ跡ミサ（滋賀県連合）

2日 NCC理事会
5日 司祭評議会常任委員会

6日 (京)責任役員会
7日 50周年実行委員会

9~14 司教協総会（東京）
15日 韓国行
16~21 第二回アジア宗教者平和會議。ホコラーレ大活躍。A長官閉幕式に臨席。日本カトヨリック司教外4名

17日 来訪中
22日(日) Monsイヴォン師（駐韓大使館）

18日(日) 大韓民族祭ミサ。安土セミナリオ跡ミサ（滋賀県連合）

19日(日) 河原町ミサ（司教叙階10周年記念ミサ）

20日(日) 松阪堅信ミサ。南勢特老訪問、藤堂師ご母堂見舞う

21日(日) 京南司祭月例会
22日(日) 松阪、三雲訪問。記念誌委員会
23日(日) 伊勢教会訪問。奈良泊

24日(日) 名古屋発、伊勢神宮表敬訪問。
25日(日) 伊勢教会訪問。奈良泊

26日(日) 天台宗杉谷師來訪
27日(日) 諸宗教長官アリンゼ枢機卿を名古屋駅に迎え、司教館・南

28日(日) 山大学等訪問に同行
29日(日) 諸宗教長官アリンゼ枢機卿を名古屋駅に迎え、司教館・南

30日(日) 伊勢教会訪問。奈良泊

31日(日) 伊勢教会訪問。奈良泊

7月
1日

諸宗教長官アリンゼ枢機卿を案内（一燈園、延暦寺、旧南

瑞寺跡、西本願寺）

2日 知恩院表敬訪問、東九条地区見学。東京へ見送る

3日 名古屋にてI先生と面談

4日 再度A長官に同伴、神社本庁関係者と面談。司教団諸宗教委主催のA長官歓迎夕食会（中央協）

5日 上寺表敬訪問、各界リーダーと面談。帰洛

6日(日) 河原町ミサ（司教叙階10周年記念ミサ）

7日(日) ロイヤルH代表来訪。笛川、

井川尼僧来訪

8日(日) ロイヤルH社長ほか来訪

9日(日) 姉妹と面談。MM管区長と面談

10日(日) 祝賀。50周年編集委。小さき

11日(日) 上寺表敬訪問、各界リーダーと面談。A長官と立正佼成会本部、増

12日(日) 大和高田堅信ミサ。汚れなき

13日(日) マリア修道院訪問

14日(日) 四国訪問、聖マルチン病院

15日(日) に母を見舞う

16日(日) 天理見学。京都着

17日(日) 御所・二条城見学。裏千家今

18日(日) 日庵。天龍寺見学。永平寺代

19日(日) 表と面談

20日(日) 表と面談

21日(日) 表と面談

22日(日)

23日(日)

24日(日)

25日(日)

26日(日)

27日(日)

28日(日)

29日(日)

30日(日)

31日(日)

32日(日)

33日(日)

34日(日)

35日(日)

36日(日)

37日(日)

38日(日)

39日(日)

40日(日)

41日(日)

42日(日)

43日(日)

44日(日)

45日(日)

46日(日)

47日(日)

48日(日)

49日(日)

50日(日)

51日(日)

52日(日)

53日(日)

54日(日)

55日(日)

56日(日)

57日(日)

58日(日)

59日(日)

60日(日)

61日(日)

62日(日)

63日(日)

64日(日)

65日(日)

66日(日)

67日(日)

68日(日)

69日(日)

70日(日)

71日(日)

72日(日)

73日(日)

74日(日)

75日(日)

76日(日)

77日(日)

78日(日)

79日(日)

80日(日)

81日(日)

82日(日)

83日(日)

84日(日)

85日(日)

86日(日)

87日(日)

88日(日)

89日(日)

90日(日)

91日(日)

92日(日)

93日(日)

94日(日)

95日(日)

96日(日)

97日(日)

98日(日)

99日(日)

100日(日)

101日(日)

102日(日)

103日(日)

104日(日)

105日(日)

106日(日)

107日(日)

108日(日)

109日(日)

110日(日)

111日(日)

112日(日)

113日(日)

114日(日)

115日(日)

116日(日)

117日(日)

118日(日)

119日(日)

120日(日)

121日(日)

122日(日)

123日(日)

124日(日)

125日(日)

126日(日)

127日(日)

128日(日)

129日(日)

130日(日)

131日(日)

132日(日)

133日(日)

134日(日)

135日(日)

136日(日)

137日(日)

138日(日)

139日(日)

140日(日)

141日(日)

142日(日)

143日(日)

144日(日)

145日(日)

146日(日)

147日(日)

148日(日)

149日(日)

150日(日)

151日(日)

152日(日)

153日(日)

154日(日)

155日(日)

156日(日)

157日(日)

158日(日)

159日(日)

160日(日)

161日(日)

162日(日)

163日(日)

164日(日)

165日(日)

166日(日)

167日(日)

168日(日)

169日(日)

170日(日)

171日(日)

172日(日)

173日(日)

174日(日)

175日(日)

176日(日)

177日(日)

178日(日)

179日(日)

180日(日)

181日(日)

182日(日)

183日(日)

184日(日)

185日(日)

186日(日)

187日(日)

188日(日)

189日(日)

190日(日)

191日(日)

192日(日)

193日(日)

194日(日)

195日(日)

196日(日)

197日(日)

198日(日)

199日(日)

200日(日)

201日(日)

202日(日)

203日(日)

204日(日)

205日(日)

206日(日)

207日(日)

208日(日)

209日(日)

210日(日)

211日(日)

212日(日)

213日(日)

214日(日)

215日(日)

216日(日)

217日(日)

218日(日)

219日(日)

220日(日)

221日(日)

222日(日)

223日(日)

224日(日)

225日(日)

226日(日)

227日(日)

228日(日)

229日(日)

230日(日)

231日(日)

232日(日)

233日(日)

234日(日)

235日(日)

236日(日)

237日(日)

238日(日)

239日(日)

240日(日)

241日(日)

242日(日)

243日(日)

244日(日)

245日(日)

246日(日)

247日(日)

248日(日)

249日(日)

250日(日)

251日(日)

252日(日)

253日(日)

254日(日)

京都教区50周年記念についてのアンケート内容

1. 1987年(昭和62年)は教区創立50周年に当ることを
イ、知っている 口、知らなかった
 2. 教区創立50周年を記念する理念は「教区おいたち50
年の見直し—現代社会における対話と刷新に向けて」
であることを
イ、知っている 口、知らなかった
 3. 「京都教区のみなさんへ—近づく教区創立50周年
に向けて」という田中司教様のメッセージを
イ、読んだ 口、知らない
 4. 「京都教区創立50周年に向けての祈り」のカードが
配布されていますが、この祈りを
教会で イ、している 口、していない
家庭や個人で ハ、している ニ、していない
 5. 「京都教区ビジョン」について
イ、知っている 口、知らない
 6. 「日本の教会の基本方針と優先課題」について
イ、知っている 口、知らない
 7. カトリック定期刊行物(イ、カトリック新聞
口、京都教区時報 ハ、その他)を読んでいる
ニ、読んでいない
 8. 信仰のよろこびを
イ、感じている 口、感じていない
 9. 教会で本音で語り合える友は
イ、多い 口、少ない ハ、いない
 10. 自分がカトリック信者であることを他人に
イ、すんぐで言う 口、時と場合によって言う
ハ、なるべく言わない ニ、言わない
- A. ●あなたの地域の中で行なわれている福音的(主のみ旨にかなう)と思われることはどんなことですか。
 ●非福音的と思われることはどんなことですか。
- B. ●社会に開かれた教会として歩んでいく中で、いま最も大切な点はどんなことだと思いますか
 ●妨げとなっている点はどんなことと思いますか。
- C. ●教区創立50周年をあなたはどのように記念したいと思しますか。(具体的に)
 ●特に青年として、どのように記念したいと思しますか。(具体的に)

小教区ごとに、用紙が準備されておりませんので、できるだけ多くの方がご回答下さいよう、お願ひ致します。しめ切り、9月30日。

あなたの良き隣人として

カトリック御葬儀
貨物一式(仮式可)

聖ヨゼフ葬典社

パウロ 杉下安雄
(西院教会所属)

京都市右京区西院寿町23
☎ (075)312-7829

=祈りのこもった素朴な味=
送ってよろこばれる
修道院製クッキー
ミサ用ブドー酒
(純粋マスカット)
和洋酒

タキノ

〒604
京都市中京区錦小路通烏丸東入
TEL (221)0976-7

皆さんに
アンケート実施中

記念事業行事委員会

坂口 節夫(津教会)

教区50周年に向けて
取組んでいます

この委員会はその役目からいつ
て企画委員会といつた方がよい。
教区のおいたち50年を見直し、
社会に開かれた教会として刷新さ
れることを理念とする具体的な記
念事業、行事を探っています。そ
れには何よりもまず、教区のみな

さんに強い関心を持つて、よく祈
つていたかねばなりません。
50周年記念ポスター・シンボル
マークも募集して、早くポスター
を貼れるようにしたいと思います。
また、教区のすべてのみなさんに、
50周年に関するアンケートに答え
ていただき、関心が深まる中から、
もつとも意義ある京都教区創立50
周年記念ができるようにと考えま
す。
歴史をつかさどられる主なる神
様に信頼して、みなさまのご協力
をお願いします。

車検 カローラ ランサーエクリプス サニー クラス 96,250円(全費用)

50余りのマスコミが絶賛!!

新車・中古車も市価より5~15万は安くなります

Auto Project
車検代行サービス(宇治教会・松浦博司)

京都営業所 ☎ 075-612-3504
京都市伏見区桃山町丹後33-87

講演会参加者の報告・感想

自分だけは
差別していないと
思っていませんか

'86 平和への歩み
問題への正しい理解と、
あなたの熱意ある取り組み
支援を求めます!!

和を妨げている問題にも言えるのではないだろうか。私たちは「誰とともに歩もうとしているキリスト者なのか」、もう一度この言葉をかみしめてみる時、平和を妨げる問題を知らないではすまされないと思う。そして、もつと広く正しい平和学習がなされなければならぬと思った。

(河原町教会)

更に、人間のもつ説明しがたい差別根性——何のトクにもならないのに誰かを差別して何となく安心するかなしい性——これを原罪なの

それは、司教様ご自身が、長い間差別され続け苦しみ続けて来た人と直接に交わられ友人として共に歩んでおられる中での、司教様ご自身のお気持であられるようでした。

後なんかすごい皮肉ですよね。差別されている人を助けに行きなさい、なんて言われないんですね。学びに行け、頭さげて教わりに行け、あの人があんたの先生だよって、イエズスさまは言つておられたんですよ」と藉切れのよい断言。

司教様のご講話は部落差別の問題に具体的にかかわるようになり、はじめてサマリア人の話が生き生きと読みとれるようになつたといふお話をからはじまりました。

被差別部落問題学習会
キリスト者として
相馬信夫司教
(名古屋教区)
7月13日 三重
宮西口づみ

自分自身の人間としての本当の解放とは?

キリスト者なのか」という言葉が
心に響いた。

キリスト者として

被差別部落問題學習會

5日 京都
「私を解放する
もの」より

井上親一氏

6月15日 京都

講演会では、ビデオ「私を解放するもの」を見、「私たちの部落に対する偏見」「教会は部落問題を知らない」「差別によって人間の本質

磯野真知子

真の解放をめざすものである、ということを話された。
その中でも特に私は、井上先生の「誰とともに歩もうとしている

いたげられた人の立場にたなれた。このキリストにつながれた者として私は、「だから」しなければならないという態度ではなく、本当に隣人の痛みを感じられるよう学びをしていきたい。

きと読みとれるようになつたとい
うお話からはじまりました。

司教様のご講話は部落差別の問題に具体的にかかわるようになります。はじめてサマリア人の話が生き生

かと思うんですよ、と人間の弱さ、罪への傾きのかなしさをもらされ、その和睦のためにキリストさまの力しかない……というようなことも、しみじみ語られました。

助長に加担していることになると強調されました。

そして、その世界人権宣言に先だつこと二十六年、大正十一年に日本で高らかにあげられた「水平社宣言」を読み上げ、その精神の高さを賛え、差別され、しいたばられ、苦しめられて來た人々

悪法を改正できるのは、日本人。だから…。

した。
(津教会)

キリスト者が被差別部落の問題だけでなく、社会のあらゆる問題に具体的にかかわっていかねばならないことについて、パウロ六世の回勅「諸国民の進歩」の冒頭のすばらしい言葉を朗読されながら、説明というより力強く訴えられ、全員に配られた「人権宣言」と「水平社宣言」のプリントを教材に、人権運動についてお話を下さいまし

在日韓国・朝鮮人
との共存をめざして

「外国人登録法について、法は法
がこのカテゴリーに入る。日本に
日本では在日韓国人・朝鮮人差別
れて来られて差別されている場合。
入る。(3) 移住・強制連行等で連
は3つとも揃っている。

8万人の在日の内60000人が虐殺された恨(はん)の始まる日である。これも日本人は忘れている。
相手がみえないところでの共存はありえない。相手を認めることがら共存は始まる。」等と訴えられた。

一九四八年国連の第三回総会で採択されたこの「世界人権宣言」は、まさに福音そのものであること、条文のいくつかを例にあげられて、神さまが「人間に寄せられた思い」の紛れもない法文化である、と説明されました。そして、人権運動とは、自分の人権の権利主張などではなく、他者の人権を尊重することだという点を、とりわけ力をこめて話されました。人権運動こそ社会の福音化であり、キリスト者が担わねばならない任務だと、何もしないことは差別の

演者は大阪市生野区在住の在日韓国人二世で、在日韓国キリスト教会館の仕事をしておられる方である。アジアにおける差別を3つの形に分類された。
①元々自分たちの土地に住みながら、後からきた人に土地を追われ、差別されている場合。日本ではアイヌ民族差別がこのカテゴリーに入る。
②異民族間ではなく、同民族間で社会的宗教的理由による差別。日本では部落差別がこのカテゴリーに

の多くは強制連行により日本に連れて来られた者の二世、三世である。また、就職差別に関して調べてみたことがあるが、キリスト教主義学校も一般企業と何等変わらなかつた。教会だから差別をしない

がつて、この問題は在日韓国・朝鮮人の問題ではない。まさに私たち自身の問題であると受け止める視点が必要であると考えさせられた講演会であつた。

一 外国人登録法について 法は法だ、守るべきである、との声がある。これについては、何が法なのか？正義のための法でなければならぬのではないか？考えてみる必要がある。一方、指紋押捺がいやなら帰れという声もある。しかしそれが日本に来た歴史的背景も考えてみる必要がある。私たち

在日韓国・朝鮮人問題は法律、
行政の問題であることは事実であ
ろう。制度、行政の問題として片
付けてしまうのは容易である。し
かし彼らを不等に扱っているのは
他でもない私たち日本の法律であ
り、その法律を改正することがで
きるのも私達日本人である。した

——つまり私たちが差別ししめた
が苦しみ続けて来た人々にゆるし
を乞い、教えを乞い、兄弟として
共に歩んでいこうとするとき、私
たち自身が、人間として本当に解
放されているのだと話を結ばれま
した。実り豊かな学習会となりま
した。

（津教会）

自分のためより 他者のために

子羊会チャリティコンサート

障害者のグループ、子羊会が、フィリピン、韓国の人々のために、チャリティコンサートを実現。多くの人々の協力で64万円を集めた。ともすれば、自分たちのためのバザー等、という発想に陥りがちな私たちに、「人のために何かできることを」と、小さなグループがやり遂げた意義は大きい。

素晴しかつた、ほんとに素晴しい演奏だつた。世界の名曲の中で特に親しまれている曲だつたせいか、久しぶりになまの演奏にんのうし、楽しい音乐会の気分にひたることができた。

演奏者が退場してもなりやまない。た。

拍手の中で、美しい調べの余韻にひたつていった私は、「おめでとう盛況でしたね」「よかつたですね」と声をかけてくださる方々に「ありがとうございます」をくり返しながら、改めて、神に、演奏者に、準備し協力してくださつた方々に感謝したのだつた。

と声をかけてくださる方々に「ありがとうございます」とうございります」をくり返しながら、改めて、神に、演奏者に、準備し協力してくださった方々に感謝したのだつた。

子羊会が創立三十周年を迎えるにあたつて感謝のミサと共に何か有意義なことを……と計画したのが、このコンサートだった。

私たちにもできた！

チケットの売りさばきも

「むりなくがんばりまし
よう」を合言葉に子羊も
友の会員も努力したおかげ
で教区ばかりでなく、
地方の子羊や友の会員の
協力もあって、予想外に
売れて、純益六十四万円
を得ることができた。

これを二分して、フィリピンのドウマゴット国際里親の会日本事務局とソウル韓国殉教福者修女会が経営しておられる愛聖母盲人再活園に、三十二万円ずつ届けること

は子羊会に、こんな素晴らしいことを、
をさせて下さつたことを、
感謝すると共に、子羊会ら
りと共に働く子羊会の原点
に努力したいと思う。

子羊会
伊達よしえ

伊達よしえ

平和を祈るコンサート '86年8月9日

ハイドンの戦時ミサを高らかに歌い、
1000人近い参加者が平和を祈った。



聖母女学院短大講堂に集まつた参加者は、熱のこもつた演奏、聖書朗読、説教に耳を傾けつつ、平和への願いを新たにした。演奏者、参加者、ともに青年が多く、信者でない人々が大半であつたが、祈りの中で一つになる喜びを感じた、すばらしい平和の集いであつた。

福音のパン種を

日本の社会で発酵させるには

小合悦子

久しぶりに帰国して、日本の教会について感じたことを尋ねられました。

この一か月間、お詫びしたのに、
小学校、女学校、医専の同級生
から親戚、家族の友人と、教会
とは関係のない方ばかりでした。
が、ああ日本の一般社会にはま
だまだ福音が伝わっていない。
日本は宣教地だということを痛
感しました。

台湾に送つてくる教会関係の

の教会の活躍、特に正義と平和のための積極的な働き、また、教区内での信者のためのさまざまである。また行事を知っているだけに、福音が全く触れられない社会が大部分であるという、この事実は大きなショックでした。

しいことが起つて
いるこのキリスト
共同体の中で
福音のパン種
を日本社会のす

真剣に福音を実際の生活の中で生きようとしている信者の方、また一般の社会人の毎日の生活の中に、教会が入つていってほしいと思います。そうすれば多くの人が身近な生活の分かち合いでから福音を体験するのではないかでしょうか。このことは教会が、信者のためだけのものではなく、すべての人々に関心を持つているという証しになると思いま

みずみまで発酵させるには何が必要なのでしょうか。
日曜日の御ミサに与った時、
民族性の違いを感じました。
隣り同志の国でありながら、
同じミサに与る信者の反応が違
うのです。日本では、静かでし
みじみとした敬虔な礼拝。台湾
では、小人数でも天井が抜けれる
ほど大きな声で怒鳴るような元
気よい礼拝、ミサの形式は定め
られているので声の大きさで民
族性を表わしているのでしょうか
か。こんなに違った民族が、本
当に自由に自分たち共同体の体
験によって主の晩餐を祝うこと
が許されたらなどと大胆な夢を

三日楽しくあづかる!!

祭壇は、十字架のいにえが再現される場所であり、神の民が共に招かれている主の食卓もあり、感謝の祭儀の中心でもありますから、聖堂の中でのもつとも重要な場所です。典礼としてはキリストのシンボルとして敬意を表わします。（礼や散香など）



祭壇
②

壇の場合は、聖人の遺骨や遺物を納めることになります。祭壇の上には、食卓であることを示す食卓布が敷かれ（ふつう白布）、必要な場合にはローソクや十字架が置かれますが、ミサの際に祭壇上で行われることが会衆からよく見えるように、邪魔にならぬようになされなければなりません。ローソク、十字架や花などは祭壇近くの別の台などに置くのもよいでしょう。いずれにしても聖なる食卓ですから、簡素に美しく、必要最小限のものを祭壇の上に置くようにし、物を置く台のようにしない方がよいでしょう。

新編・医籍のなかの参考文献

● インド・ケララ州

(奈良9月23日・京都11月3日)

無医・無医療所地域に建設された聖ヨゼフ修道会運営の病院の医療器具購

● インド・タミルナドー州

ピート・グリフス 神父

で河川敷に住んでいたが、アトモ最下層

● インドネシア・スマトラ島メダン市

Sr 千葉礼子(聖母カテキスマ会)からインド人居住

施設充実費として

施設充実費として

台灣彰化縣鹿港

メリノール女子書

メリノール女子書

お知らせ



▼教区スケジュール

9月

8日 三重地区司祭会議（鈴鹿）
12～14日奈良マリックエンカウ

ンター

13～15日三重地区靈性と正義と
平和の研修会（津研館）

スカウトサンデー

21日(日)レジオマリ工黙想会
(メリノールハウス)

29日 司祭評定例会議
(メリノールハウス)

▼司祭異動

ドナルド・ヴィットングル師
西院教会主任（代行）
(京都北部、北海道などで活躍されていました)

十字
帰天

ウイリアム・カシュミーター神父(87)

8月6日（ミユーヨーク時間）

永年にわたり京都教区で

宣教の奉仕に携わっておられました。（メリノール会）

松田幸治郎様(75)

8月5日

松田友明師（故人）令兄

モニカ岩井静栄様

7月28日

ノートルダム教育修道女会

Srベルナルド岩井ご母堂

ご参加下さい
「聖書と祈りの集い」
第2回ミニコース開講

奈良教會

奈良教会では福音宣教を信徒みんなの手で実践しようと、第2回「聖書と祈りの集い」ミニコースを開講することになりました。

●期間 10月18日(土)～11月9日(日)

●場所 奈良教会信徒館

●テーマ「競争社会に生きる
わたしたち」

●講座内容と日時

1回「孤独」 ウィックス師

2回「不安」 シスター花岡

3回「いじめ」 シスター景山

4回「生きていく力（まとめ）」

5回「PM2時～4時

6回「PM2時～4時

7回「PM2時～4時

8回「PM2時～4時

9回「PM2時～4時

10回「PM7時～9時

11回「PM7時～9時



場所	伏見教会	平和への歩み講演会
日時	10月5日 PM2時～3時30分	テーマ 「友禅染めの現場にて」 講師 梶岡恒夫氏(ACEOメンバー)
場所		

労働者問題

「友禅染めの現場にて」

講師

梶岡恒夫氏(ACEOメンバー)

場所

伏見教会

講師

梶岡恒夫氏(ACEOメンバー)